

2021年7月22日

全日本ジュニアバドミントン鹿児島県選考会における  
新型コロナウイルス感染症対策

鹿児島県バドミントン協会  
野久尾 英俊

新型コロナウイルス感染症対策として、下記の通りの対策をとって大会運営を行う  
\*公益財団法人 日本バドミントン協会「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン」より引用

## 1. 大会開催への配慮及び準備に関する注意事項

### (1) 大会関係者について

- ・大会会場への入場者は、原則、大会申込書に記載のある「選手・監督・コーチ」に加え、各チームのマネージャー1名、及び「大会運営スタッフ(本部補助生徒を含む)」とする。
- ・大会関係者は常時マスクを着用する。水分補給を促し、熱中症対策も講じる。
- ・特殊事情の申請がある場合は当日の入場を認める。例：病気などで介添が必要

### (2) 式典等、運営の簡略化

- ・開閉会式は行わない。代表者会議は事前に資料は配布し、当日時間短縮をする。(全体アナウンスを行う。)
- ・感染症対策を講じた上で関係者のみで表彰式を実施する場合もある。

### (3) 大会会場内に関する確認及び準備事項

- ・会場の使用方法等については、施設管理者と十分に確認する。

#### 1) 会場内の各出入り口

- ・競技に支障がない範囲で換気のため常に開放しておく

#### 2) トイレ、手洗い場所

トイレ(洗面所)は感染リスクが比較的高いため、以下に配慮する。

- ・関係者が触れると考えられる場所(洗面台、ドアノブ等)をこまめに消毒する。
- ・洗面所出入口には手指消毒剤を用意する。

#### 3) 更衣室、食事・休憩・待機スペース

- ・更衣室の使用は更衣のみとする。シャワーは使用禁止。
- ・観覧席は、1席空けて席を利用する。応援において座席(観客席)の移動はしない。
- ・ソーシャルディスタンス(2m)を意識し行動する。

#### 4) 大会本部及び関係者控え室

- ・大会本部の設置は、密を避けるように配置し、適切な運営スペースを確保する。
- ・関係者控え室は、なるべく多くの部屋を確保し、密を避けるようにする。
- ・可能な限り常時、窓や扉を開放する。難しい場合はこまめに換気する。
- ・運営物品や共有物等は、定期的に消毒を行う。

## 5) 競技会場（競技スペース）及び競技関係用具類等

- ・バドミントン競技の特性を考慮し、遮光性に配慮の上、可能な限り窓や扉を開放して行う。
- ・窓や扉が解放できない場合は、換気のタイミングや換気時間等をきめ、事前に周知する。
- ・コートサイドには、選手が使用するカゴは設置せず、各自用意したものの中に収容させる。
- ・試合前後の選手同士の握手は行わない。
- ・靴箱は利用せず、各自のシューズ袋に入れて保管する
- ・関係者すべてのマスクの着用を義務づける。ただし、練習・試合の時はそれを義務づけない。
- ・会場に入場する際は検温・消毒を実施する。

## 2. 大会参加者に関する留意事項

参加者には以下の措置を周知する

- (1) 次の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる
  - ・体調がよくない（例：発熱・咳・倦怠感などの症状がある）
  - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
  - ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該が移住者との濃厚接触がある
- (2) マスクの持参・着用
  - ・競技を行っていない時、会話をするときにはマスクを着用する
- (3) 手洗い、アルコール等による手指消毒等による日常の感染症予防の実施
- (4) 他の参加者、大会関係者等との距離の確保（最低でも 1 m）
- (5) 応援は拍手のみとする。
- (6) 水分補給のためのボトルをコートサイドに持ってくるときは各自のバッグ等に収容する
- (7) ラケット・タオル等の共用はしない
- (8) プレーヤー同士のハイタッチ等は極力行わない
- (9) 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- (10) 感染防止のために主催者側が決めた措置の遵守、主催者の指示に従う
- (11) 大会本部で準備する消毒スプレー等が不足するため、各自必ず持参すること。  
使用した座席を離れる場合等、各自持参した消毒スプレー等で消毒作業をすること。
- (12) 【資料 1】健康状態確認シートを大会当日受付に提出すること。

以上